

エコキュート

サンフレックス 配管システム

エコパイプ

耐候性断熱材付

(アルミ三層複合架橋ポリエチレン管)

配管施工・要領書

ペアーエコパイプの融着された保温材を削いで使用する場合は、削いた部分の被覆ははがれることがあります。被覆のはがれた部分は、遮光テープなどを巻いて、補修してください。

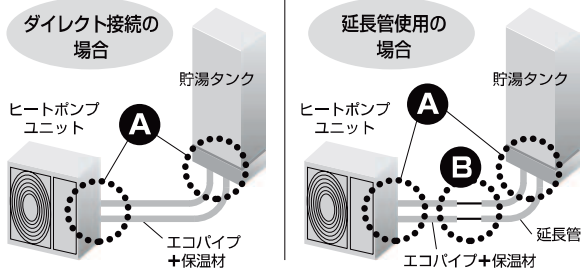
水漏れ抑制のため、ナット付アダプターに付属している耐熱パッキンは使用せず、エコキュートに付属のヒートポンプ配管用パッキンまたは、別売品のヒートポンプ配管専用パッキン(4枚入り)(型式: BH-PACKINGまたはBH-PACKINGA)を使用してください。なお、専用パッキンは接続口に各1枚ずつ使用し、2枚重ねで使用しないでください。

★施工に当たりましては、この施工要領書をよくお読みの上、正しく安全に作業してください。
★施工作業時は、安全のためヘルメット・防護メガネ・手袋などで保護してください。

エコパイプ 取扱いのご注意

- 搬入や運搬の際は、必ず持ち上げて行ってください。引きすると管が損傷する恐れがあります。
- 保管する場合は、紫外線(直射日光)の当たる場所に放置せず、室内に保管してください。(要注意)
- 塗料、コーキング材、溶剤などが付着するとパイプが損傷する恐れがあります。
- 保存場所では火気を使用しないでください。

- 開梱時には、カッターナイフなどの鋭利な刃物を使用しないでください。パイプが傷つき漏水などの原因になる場合があります。(要注意)
- パイプが座屈したり、折れ曲がらないようにしてください。万一発見したら除去してください。
- 寒冷時にパイプをジェットバーナーなどで暖めないでください。
- エコパイプには、必ず当社製の継手をご使用ください。他社製品をご使用の場合、互換性の問題等により漏水等の事故につながる恐れがあります。



基本作業

- エコパイプの面取りを行う
 ① 奥までいっばいに差し込む
 面取器を回転する
 基本作業の後、**A** 又は **B** に
お進みください
- 保温材の管末に管末キャップをかぶせる
 かぶせる
 50mm
 エコパイプと保温材は、約50mmが適当です
 管末キャップ
- エコパイプに、スプリングバンダーを差し込み、希望の部分を曲げる
 スプリングバンダーを差し込む
 R80 まで
 ※ 80アールが限界です
 ★曲げる場合は、スプリングバンダーをご使用ください
 ★同じ部分での曲げ・戻しを繰り返さないでください

A 接続口へ

ナット付アダプターを使用します。

- 割リング・ナットを確認し、ナット付アダプターをセットする
 モンキーレンチで締める
 ★確認・穴の中の白いパイプを必ずご確認ください
- ヒートポンプ配管専用パッキンを確認の上、行き・戻りを必ず確認し、接続口にねじ込む
 ねじ込む
 ヒートポンプ 又は 貯湯タンク側の接続口 (R1/2)
- モンキーレンチで締める
- 半割保温材を取付ける
- 継手用保温カバーを取付ける

エコパイプの切断の仕方

- 専用の切断器を使用してください。
 - 切断器の刃をパイプに直角に当て、頭のツマミを廻して刃を固定し切断器を回転します。
- ① 90°
② 頭のツマミを廻して刃を固定
③ 切断器を回転する

B 延長管へ

ソケットを使用します。

- 本体・割リング・袋ナットを確認する
 エコパイプ
 本体
 割リング
 袋ナット
 ※メカ継手の割リングの再使用は、絶対に行わないでください。
- エコパイプを差し込み、飲み込みしろを確認する
 差し込む
 エコパイプ
 ※確認・穴の中の白いパイプを必ずご確認ください
- 割リング・ナットをセットする
- 袋ナットが止まりにあたるまで締め付ける

呼び	10	13	16
締め付けトルク(Nm)	35	45	70
- 半割保温材を取付ける
- 継手用保温カバーを取付ける

注1

エコパイプの面取りの仕方

- 専用の面取器(別売)を使用してください。
 - 奥までいっばいに差し込んで、回転してください。
- ① 奥までいっばいに差し込む
② 面取器を回転する
専用面取器

注2

●エコパイプ入りの保温材をカットする場合は、エコパイプを傷つけないよう充分にご注意ください。